

# analog

2011  
AUTUMN  
vol. 33



オールカラー & リニューアルで充実度アップ!

特集

## 「アナログシステム 使いこなしのツボ」

特別インタビュー

王 貞治さん〈後編〉

「野球への想いと今後」

アナログ関連  
豪華モニター大募集

### 銘機を鳴らす

第16回 「DYNAUDIO 新コンフィデンス」

好評連載

### いまこそ クラシックカメラを楽しもう

第28回 「ステレオカメラ勢揃い!」

- 音の五つ星物語 「ORACLE、B&W、Sonus faber ほか」
- 興水精一チーフブレンダーインタビュー
- 話題の真空管アンプ研究
- ビンテージ物語 / 名門ブランド
- 最新レコード全30タイトルレビュー

ピットインインタビュー

国府弘子さん〈後編〉

連続企画

## レコードを磨こう! 「達人に訊く保管の極意」



INTEGRATED AMPLIFIER

# EAR 834

EAR ¥512,400



## SPECIFICATIONS

< EAR 834 > ●使用真空管: ECC83 × 2、ECC85 × 2、EL34 × 8 ●出力: 50W / ch ●周波数特性: 15Hz ~ 40kHz (3% THD 以下) ●I.M.D.: 1% 以下 (10mW ~ 50W) ●ダンピングファクター: 12 ●SN比: 85dB ●入力感度: 200mV ●入力インピーダンス: 47k Ω ●消費電力: 200W ●サイズ: 405W × 150H × 405Dmm ●質量: 20kg

< EAR V12 > ●使用真空管: ECC83 × 10、EL84 × 12 ●出力: 50W / ch ●周波数特性: 12Hz ~ 60kHz (-3dB、ハーフパワー) ●I.M.D.: 0.5% 以下 ●ダンピングファクター: 10 ●SN比: 93dB (0.4mV 以下) ●入力感度: 400mV ●入力インピーダンス: 47k Ω ●消費電力: 200W ●サイズ: 420W × 135H × 440Dmm ●質量: 22.0kg ●取り扱い: ヨシノトレーディング (株)



INTEGRATED AMPLIFIER

# EAR V12

EAR ¥942,900

# 英国の老舗真空管アンプブランドの 日本再上陸記念モデル2機

## 日本市場向けの記念モデル 余裕と彫りの深さを備えた再現性

EARは我が国のファンに最も親しまれてきた英国の管球アンプメーカーだが、このほど取り扱いが変わり、設計者ティム・デ・パラヴィチーニ氏の夫人であるヨシノ氏が設立したヨシノトレーディング株式会社が、我が国への輸入業務を新たに行うことになった。ここに紹介するのはいずれもそれを記念して用意されたモデルである。

EAR834は、出力管にEL34を8本使用したプリメインアンプ。A級動作とし、各チャンネル4本ずつをパラレル・プッシュアップで搭載している。また入力段はECC83、ドライバーはECC85とし、チョークを追加した日本市場向けの専用設計ということで、仕上げも従来とは違うブラックとした。同社オリジナルのスペシャルな出力トランスも装備している。

パワーに余裕を感じさせる音調で、背景の静かさも印象的だ。格別真空管の音

色を強調した形跡はなく、その素性を着実に生かした、楷書的な格調を感じさせる。

アカベラはシャープなソプラノのアンサンブルを濁りなく引き出し、やや輝かしい感触で描いている。切れを甘くすることがなく、鋭い部分は鋭く出るが、それが棘にならないところに余裕を感じる。

ピアノは響きの深いタッチが瑞々しく、十分に腰を落としながら澄んで歯切れがいい。和音に伴う余韻の出方がこのほか豊かで、瞬発力に富んだ低音部と共に表現力を高めているようだ。オーケストラは壮大で峻烈。強靱な大太鼓や厚手の張りを持つ金管など、鮮度の高さを実感させる音調を得ている。ダイナミズムの幅が広く、音色が多彩で鮮やかだ。弦楽器の潤いを帯びた手触りや木管の繊細さなどにも、汚れのなさが現れている。余裕と彫りの深さを備えた再現性である。

## 合計22本の真空管を搭載 余裕のある駆動力を備える

EAR V12は、小型の5極管EL

84を、チャンネル当たり実に6本ずつ、トリプル・プッシュアップで搭載した大型モデルである。動作はやはり純A級。入力段はECC88を各1本とし、ECC83各5本をドライバーとして使用している。

元々あったV20をベースとして新規に設計された製品だが、その外観からジャガーのV12エンジンに触発されてモデルネームとしたそうである。

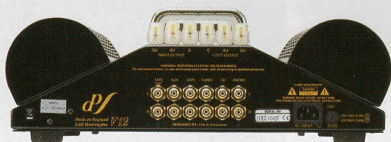
小型管を多数並列したことで1本当たりの負荷は減少しているはずで、そのためか歪みや濁りが感じられず、S/Nも高い。出力以上の余裕を感じさせる駆動力を備えている。チェロの音色が温かな潤いを持ち、艶やかで悠々とした鳴り方を示す。

アカベラも楽々と伸びている感触で、

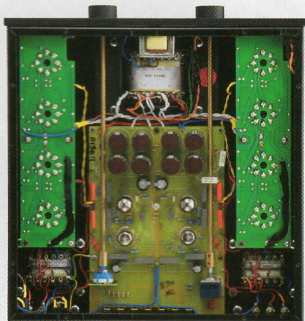
ハーモニーがきれいに分解されている。ひとりひとりの声に分かりやすく、それぞれの表情がいていねいに描き分けられて余韻にも混じり気が感じられない。

ピアノは静かな背景の中に瑞々しいタッチできらめくような印象だ。音に濁りや汚れがなく、潤いのたっぷりした余韻がことのほか美しい。低音部の把握も力強く、芯のしっかりした質感がきめ細かく捉えられている。

オーケストラの鮮やかなことも特筆しておきたい。解像度に富み、トゥッテイでも大音量の中での楽器ひとつひとつが明瞭に描き分けられている。そして弦楽器にも金管にも打楽器にも繊細な手触りが備わり、峻烈で雄大な再現を生き生きしたものにしている。音楽的な表現力が出色である。



EAR834 (写真上) と V12 (写真下) のリアパネル。6系統の RCA 入力端子を中央に置くなど、似た構成になっている



EAR834 の内部。電源部を中心とし左右対称のレイアウトが採られている

